



「砂防堰堤探検隊」

開催概要

- 開催日時 令和6年7月12日(金) 9:00~11:30
- 開催場所 イーハートブ火山局、焼走り溶岩流、外水沢砂防堰堤建設工事現場
- 参加者 盛岡市立好摩小学校5年生児童 33名

実施内容

岩手河川国道事務所、岩手県、盛岡市では、次代を担う小学生を対象に、八幡平山系における土砂災害(火山噴火)の発生メカニズムや、地域の安全を支える砂防施設の役割を理解し、災害から自らの命を守る知識を習得することを目的に、『砂防堰堤探検隊』を開催しております。平成8年度から開催し、今年は7/2(火)雫石町立西山小に引き続き、盛岡市立好摩小児童が探検しました。

まず午前中の座学では、岩手山は近年噴火の可能性が高まったことや、噴火した場合に発生した土砂災害(山くずれ、土石流)を動画で体感し、国土交通省が実施している災害の被害を軽減するための砂防事業(砂防堰堤など)について紹介しました。その後、クイズにも挑戦し、模型実験で砂防施設の役割を学びました。また、アンケートに答えて「イーハートブ火山局」でしか入手出来ない「小水無沢第1砂防堰堤のSABOカード」をゲットしていました。

次に、特別天然記念物に指定されている焼走り溶岩流を見学し、噴火から290年経つ今でも残る荒涼とした景観を眺めました。最後に、岩手県が担当する砂防堰堤建設工事現場を見学しました。

児童からは「岩手山は次いつ噴火するか」「命を守るためにはどうすればいいか」「どんな時に土砂災害が起こりやすいか」等沢山の質問をいただきました。皆さんにとって、防災意識を高める一助となれば幸いです。

実施状況



火山局で座学の様子



土石流模型実験の様子



外水沢砂防堰堤建設工事現場で記念撮影